

FT Cboe Vest S&P 500® Dividend Aristocrats Target Income ETF
ファーストトラスト Cboe Vest S&P 500 配当貴族 ターゲットインカム ETF

交付運用報告書

2023年10月31日に終了する計算期間

免責事項

この交付運用報告書は、2023年10月31日付 Annual Report の記載事項の翻訳に基づいており、日本における投資家の参照用に作成されたものです。投資家は、この交付運用報告書及び上記 Annual Report との間に齟齬が生じた場合、上記 Annual Report が優先されることにご留意下さい。

- (注) 1. 本書に記載の「ドル」又は「\$」という用語は、別段の記載がある場合を除き米ドルを指します。また、本書に記載の金額のうち通貨単位の記載がないものは、別段の記載がある場合を除きその通貨単位は米ドルです。
2. 本書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しています。

2024年8月15日

金融庁長官 殿

発行者

受益証券発行者名	ファースト・トラスト・エクスチェンジ・トレーデッド・ファンドIV (First Trust Exchange-Traded Fund IV)
----------	---

代表者の役職氏名	プレジデント兼チーフ・エグゼクティブ・オフィサー ジェームズ・エム・ディカス (James M. Dykas, President and Chief Executive Officer)
----------	--

本店の所在地	アメリカ合衆国、イリノイ州、ウィートン、イースト・リバティー・ドライブ 120 番地 400 号室 (120 East Liberty Drive, Suite 400, Wheaton IL 60187, United State of America)
--------	---

代理人の氏名又は名称	弁護士 樋 口 航
------------	-----------

代理人の住所又は所在地	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
-------------	---

事務連絡者氏名	弁護士 樋 口 航
---------	-----------

事務連絡場所	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
--------	---

電話番号	(03)6775-1142
------	---------------

外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載
した書面

(交付運用報告書)

投資信託及び投資法人に関する法律第59条において準用する同法第14条第4項及び第6項の規定により外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面（交付運用報告書）を提出します。この報告書の記載事項は、事実と相違ありません。

本書の記載事項の説明**1. 運用方針**

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」を参照。

2. 計算期間中における資産の運用の経過

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

3. 運用状況の推移

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

4. 計算期間の末日における純資産及び基準価額の状況

「貸借対照表」、「損益計算書」、「純資産変動計算書」及び「財務ハイライト」等を参照。

5. 信託報酬その他の手数料等

「ファンドの費用（未監査）」及び「損益計算書」等を参照。

6. 投資の対象とする有価証券等の主な銘柄

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」等を参照。

将来予想に関する記述についての注意事項

本報告書には、1933年証券法（その後の改正を含みます。）及び1934年証券取引所法（その後の改正を含みます。）の意味における一定の将来予想に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」又は「アドバイザー」といいます。）及び／又は Cboe VestSM Financial LLC（以下「Cboe Vest」又は「サブアドバイザー」といいます。）並びにそれらの各代表者の目標、信念、計画、又は現在彼らに利用可能な情報を考慮した現在の期待に関する声明が含まれます。将来予想に関する記述には、現在又は歴史的事実にのみ関連しないすべての記述が含まれます。例えば、将来予想に関する記述には、「予期する」、「見積もる」、「意図する」、「期待する」、「信じる」、「計画する」、「かもしれない」、「するはずである」、「するだろう」など、将来の出来事や結果の不確実性を伝える言葉の使用が含まれます。

将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスク、不確実性、その他の要因が含まれ、これらの要因が、本報告書で述べられているファーストトラスト・エクステンジ・トレーデッド・ファンド IV（以下「本ファンド」といいます。）のシリーズ（ファーストトラスト Cboe Vest S&P 500 配当貴族 ターゲットインカム ETF[®]。以下「本ファンド」といいます。）の実際の結果、業績、又は成果が、将来予想に関する記述によって表明又は暗示される結果、業績、又は成果と大幅に異なる可能性があることを意味します。この報告書に含まれる情報を評価する際には、これらの将来予想に関する記述に過度に依存しないよう注意してください。これらはアドバイザー及び／又はサブアドバイザー並びにそれらの各代表者の判断を、ここに記載された日付の時点でのみ反映しています。私たちは、ここに記載された日付以降に生じる出来事や状況を反映して、これらの将来予想に関する記述を公に改訂又は更新する義務を負いません。

パフォーマンス及びリスク開示

本ファンドがその投資目的を達成するという保証はありません。本ファンドは市場リスクに曝されています。これは、本ファンドが所有する証券の市場価値が減少し、その結果、本ファンドのシェアの価値があなたの支払った価格よりも低くなる可能性があることを意味します。したがって、本ファンドへの投資により損失を被ることがあります。

引用されているパフォーマンスデータは過去の実績を表しており、これは将来の結果の保証ではありません。現在のパフォーマンスは、示されている数値よりも低いか高いかもありません。最新の月末パフォーマンスデータについては、www.ftportfolios.com をご覧になるか、又は財務アドバイザーにお聞きください。投資収益、純資産価値、及びシェア価格は変動し、本ファンドのシェアは売却時に、その元のコストよりも価値が高い可能性もありますが、低い可能性もあります。

アドバイザーは、本ファンドのウェブページ（www.ftportfolios.com）で、定期的に本ファンドのパフォーマンスに関する追加情報を提供することがあります。

本報告書の読み方

本報告書には、本ファンドへの投資を評価するのに役立つ情報が含まれています。本ファンドに関する詳細な情報が含まれており、本ファンドのパフォーマンスや投資アプローチに関するインサイトを提供するデータや分析が提示されています。

本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームによるポートフォリオの解説を読めば、市場環境が本ファンドのパフォーマンスにどのように影響したかを理解できるでしょう。続く統計情報は、本ファンドのパフォーマンスが関連する市場ベンチマークと比較してどのようなものであったかを理解するのに役立つかもしれません。

アドバイザー及び／又はサブアドバイザーの人員によって表明された意見は、あくまで情報に基づいた彼らの意見であることを念頭に置くことが重要です。これらの意見を約束や助言と考えるべきではありません。意見は、統計と同様に、本報告書の表紙の日付までの期間をカバーしています。本ファンドへの投資に伴う主要なリスクは、目論見書、追加情報のステートメント、及びその他の本ファンドの規制関連の提出書類に明記されています。

ファンドのパフォーマンス概要（未監査）

ファーストトラスト Cboe Vest S&P 500 配当貴族 ターゲットインカム ETF[®]（以下「本ファンド」といいます。）は、Cboe S&P500[®]Dividend Aristocrats Target Income Index Monthly Series（以下「インデックス」といいます。）と呼ばれる株価指数の価格及び利回り（本ファンドの手数料及び費用控除前）に概ね一致する投資成果を目指します。

本ファンドは、通常、その総資産（投資のための借入れを含みます。）の少なくとも 80%を、インデックスを構成する証券に投資します。本ファンドは、インデックス投資手法を用いてインデックスのパフォーマンス（手数料及び費用控除前）を複製するよう試みます。インデックスは S&P Opco, LLC（以下「インデックス・プロバイダー」といいます。）により所有、開発、維持及び算出されます。インデックスは、S&P500[®]Index の年間配当利回りを約 8%上回る株式配当とオプション・プレミアムによる年間収益水準を生み出すことを主な目標とし、キャピタルゲインを生み出すことをもう一つの目標として設計された、ルール・ベースのバイ・ライト指数です。目標とする収益水準を実現するというインデックスの目的上、本ファンドが目標達成のために有価証券を売却することで本ファンドの税効率が他の ETF よりも低くなる可能性があります。インデックスは、(1)S&P 500[®] Dividend Aristocrats Index に含まれる株式（以下「貴族銘柄」といいます。）のうち国内証券取引所で取引されるオプションが付されたものからなる等加重ポートフォリオと、(2)各貴族銘柄に係るショート（売建）コール・オプション（以下「カバード・コール」といいます。）のローリング・シリーズという、2 つの部分で構成されます。S&P 500[®] Dividend Aristocrats Index には、S&P500[®]Index の構成企業のうち少なくとも 25 年連続で毎年増配しており、リバランス基準日時点の浮動株調整後時価総額が少なくとも 30 億ドルであり、1 日の平均売買代金が少なくとも 500 万ドルの企業が含まれます。

パフォーマンス

	平均年間トータルリターン			累積トータルリターン		
	2023 年 10 月 31 日に終了した 1 年間	2023 年 10 月 31 日に終了した 5 年間	設立（2018 年 3 月 26 日）から 2023 年 10 月 31 日までの期間	2023 年 10 月 31 日に終了した 5 年間	設立（2018 年 3 月 26 日）から 2023 年 10 月 31 日までの期間	
本ファンドのパフォーマンス						
NAV	-0.43%	7.93%	7.59%	46.47%	50.61%	
市場価格	-0.44%	7.93%	7.59%	46.43%	50.60%	
インデックスのパフォーマンス						
Cboe S&P 500 [®] Dividend Aristocrats Target Income Index Monthly Series						
	0.38%	8.76%	8.41%	52.16%	57.18%	
S&P 500 [®] Dividend Aristocrats Index	-0.69%	8.94%	8.61%	53.47%	58.82%	
S&P 500 [®] Index	10.14%	11.01%	10.38%	68.59%	73.86%	

設立以来の期間におけるトータルリターンは、本ファンドの設立日から計算されます。「平均年間トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の平均年間変化率を表します。「累積トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の総変化率を表します。

本ファンドのシェア 1 口当たり純資産価額（以下「NAV」といいます。）は、本ファンドのシェア 1 口の価値であり、本ファンドのすべての資産（未収利息や配当を含みます。）の価値から、すべての負債（未払費用や宣言されているが未払いの配当を含みます。）を差し引いて、発行済みシェア総数で割って算出されます。市場リターンを計算するために使用される価格（以下「市場価格」といいます。）は、本ファンドの NAV が計算される時点での全米で最良のビッド価格とオファー価格の仲値（以下「NBBO」といいます。）を用いて決定されます。証券取引委員会の規則によると、NBBO は、本ファンドの NAV が計算される時点で本ファンドを取引している各取引所の中で最も高い買い価格と最も低い売り価格から構成されます。本ファンドのシェアが本ファンド設立後まで流通市場で取引されなかったため、設立から本ファンドのシェアが流通市場で取引される最初の日までの期間においては、本ファンドの NAV を流通市場の取引価格に代わるものとして使用し、市場リターンを計算します。NAV 及び市場リターンには、すべての分配金が NAV と市場価格で本ファンドに再投資されたと仮定しています。

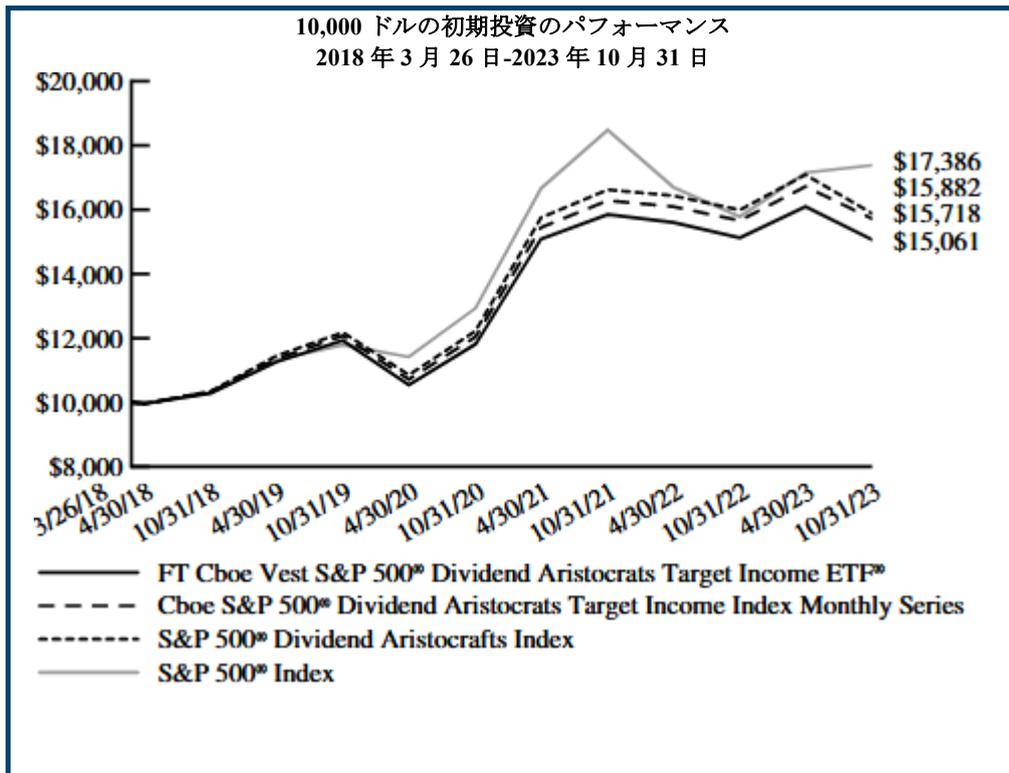
インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。また、市場リターンには、流通市場取引に関して支払義務が生じる可能性のある仲介手数料は含まれていません。仲介手数料が含まれる場合、市場リターンは低くなります。表示されているトータルリターンは、インデックス内の証券における配当の再投資を反映しています。表示されているリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。本ファンドのシェアの投資リターンと元本価値は、市場状況の変化に伴って変動します。本ファンドのシェアは、償還される際や市場で売却される際に、元のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

セクター・アロケーション	長期投資総額に 占める割合
生活必需品	25.6%
工業	22.3
素材	12.1
金融	10.4
ヘルスケア	10.1
公益事業	4.6
一般消費財	4.5
不動産	4.5
情報テクノロジー	3.1
エネルギー	2.8
合計	100.0%

資金配分	純資産に占める 割合
普通株式	100.2%
マネー・マーケット・ファンド	0.2
売建オプション	(0.4)
その他の資産及び負債純額	0.0*
合計	100.0%

* 金額は0.1%未満です。

保有上位 10 銘柄	長期投資総 額に占める 割合
Stanley Black & Decker, Inc.	1.6%
W.W. Grainger, Inc.	1.6
NextEra Energy, Inc.	1.6
Hormel Foods Corp.	1.6
International Business Machines Corp.	1.6
A.O. Smith Corp.	1.6
Ecolab, Inc.	1.6
Linde PLC	1.6
Federal Realty Investment Trust	1.6
General Dynamics Corp.	1.5
合計	15.9%



パフォーマンスの数値は、すべての分配金の再投資を前提としており、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを予想するものではありません。

ディスカウントとプレミアムの頻度分布

本ファンドのシェアの市場価格が本ファンドの純資産価額より高い（プレミアム）又は低い（ディスカウント）日数を示す情報は、直近の年度及びそれ以降の直近の暦四半期（又は本ファンドの存続期間が短い場合はその期間）について、<https://www.ftportfolios.com/Retail/etf/home.aspx> で入手できます。

ポートフォリオの解説（未監査）

アドバイザー

ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」又は「アドバイザー」といいます。）が本ファンドの投資アドバイザーです。ファーストトラストは、本ファンドの投資ポートフォリオを継続的に監視し、本ファンドの業務を管理し、本ファンドの運用に必要な一定の事務管理業務を提供する責任を負います。

サブアドバイザー

Cboe VestSM Financial LLC（以下「Cboe Vest」又は「サブアドバイザー」といいます。）が本ファンドの投資サブアドバイザーを務めています。かかる地位の下、Cboe Vest は、本ファンドの投資ポートフォリオにおける有価証券の選定及び継続的監視について責任を負います。バージニア州 22102、マククリーン、スイート 240、ブロード・ストリート 8350 に主たる事務所を置く Cboe Vest は 2012 年に設立されました。2023 年 10 月 31 日現在、Cboe Vest は約 178 億ドルを運用し、又は運用にコミットしていました。

ポートフォリオ・マネジメント・チーム

カラン・スード-Cboe Vest のマネージング・ディレクター

ハワード・ルービン-Cboe Vest のマネージング・ディレクター

本ファンドのパフォーマンスに関する議論

ここでの議論は、2023 年 10 月 31 日に終了した 12 カ月間（以下「当期」といいます。）の本ファンドに関するものです。本ファンドは、Cboe S&P 500[®] Dividend Aristocrats Target Income Index Monthly Series（以下「SPATI Index」又は「ベンチマーク」といいます。）を追跡することを目指しています。

市場動向

株式相場は 2022 年終盤と 2023 年前半に驚異的な回復力を示しましたが、その後、インフレと景気後退の懸念が再燃したため 2023 年第 3 四半期と 2023 年 10 月に下落しました。連邦準備制度理事会（以下「FRB」といいます。）は、フェデラルファンド金利誘導目標を当期末までに 3.25%から 5.5%に引き上げるにより期中のインフレ率の上昇に対処しました。

S&P500[®]Index（以下「Index」といいます。）により測定される米国株式は 10.14%値上がりしました。Index 内の 11 セクターのうち 5 セクターが期中に上昇しました。上位 3 セクターは通信サービス、情報テクノロジー及び一般消費財の各セクターであり、リターンはそれぞれ 35.7%、30.9%及び 8.4%でした。下位 3 セクターは公益事業、不動産及びヘルスケアの各セクターであり、リターンはそれぞれマイナス 7.7%、マイナス 6.6%及びマイナス 4.6%でした。

パフォーマンスの分析

当期中、本ファンドは、原則として 67 銘柄及び当該銘柄のほぼすべてに係る売建コール・オプションを概ね均等ウェイトで保有していました。2023 年 7 月 21 日の大引け時点で、SPATI Index のメソドロジーは、Index を上回る配当利回りにつき 3%から 8%に更新しました。

当期の本ファンドの純資産価額（以下「NAV」といいます。）ベースのパフォーマンスはマイナス 0.43%であった一方、SPATI Index のパフォーマンスは 0.38%でした。0.81%のアンダーパフォーマンスは、以下の要因により説明できます。

- (1) 手数料及び費用：手数料及び費用により本ファンドのパフォーマンスは約 0.75%低下しました。
- (2) 取引執行コスト：売買委託手数料のほか、仲値以外の価格で有価証券を取引することに伴うスリッページにより本ファンドのパフォーマンスは約 0.06%低下しました。
- (3) 本ファンドと SPATI Index の保有銘柄の違い：本ファンドは SPATI Index と同じ割合（すなわち、ウェイト）で有価証券を保有するよう努めますが、本ファンドのウェイトが SPATI Index のウェイトから乖離することがあります。本ファンドのオプション・ウェイトが流動性の懸念を考慮して設定されるよう、オプション・ポジションが「最適化」される場合があります。すなわち、大きなビッド・アスク・スプレッドで取引されるオプションは、取引執行コストを最小限に抑えるために本ファンドの保有対象から除外されることがあります。当期は、本ファンドと SPATI Index のウェイトの差が本ファンドのパフォーマンスに正味 0.00%のプラスの影響を与えたと我々は見積もっています。

本ファンドについて市場価格を用いた場合、当期の本ファンドのパフォーマンスはマイナス 0.44%でした。

本ファンドの保有銘柄がパフォーマンスに及ぼす影響

当期の本ファンドの保有銘柄のうち最もパフォーマンスが高い 5 銘柄は、West Pharmaceutical Services、Pentair PLC、Linde PLC、A.O. Smith Corp.及びW.W. Grainger, Inc.であり、リターンはそれぞれ38.7%、37.4%、30.4%、29.7%及び26.3%でした。

当期の保有銘柄のうち最もパフォーマンスが低い 5 銘柄は、Genuine Parts Co.、Hormel Foods Corp.、Target Corp.、Walgreens Boots Alliance, Inc.及びAlbemarle Corp.であり、リターンはそれぞれマイナス 25.7%、マイナス 27.9%、マイナス 30.6%、マイナス 38.8%及びマイナス 54.4%でした。

セクター・ウェイトがパフォーマンスに及ぼす影響

本ファンドは SPATI Index の追跡を目指しているため、当期はベンチマークに沿ったセクター・ウェイトとなりました。しかしながら、本ファンドのセクター・ウェイトは Index のセクター・ウェイトとは大きく異なっていました。Index と比較すると、本ファンドは生活必需品、工業及び素材の各セクターを大幅にオーバーウェイトし、情報テクノロジー、通信サービス及び一般消費財の各セクターを大幅にアンダーウェイトしていました。Index のセクター・ウェイトに対する本ファンドのセクター・ウェイトの正味の効果は、Index のパフォーマンスに対する本ファンドのパフォーマンスにマイナスの影響を及ぼしました。

工業及び素材の各セクターにおける本ファンドの保有銘柄の好調なパフォーマンスは、本ファンドがこれらのセクターを相対的にオーバーウェイトしていることもあって、Index に対する本ファンドの相対的なオーバーパフォーマンスをもたらしました。

情報テクノロジーセクターの好調なパフォーマンスは、本ファンドがこのセクターを相対的にアンダーウェイトしていることもあって、Index に対する本ファンドの相対的なアンダーパフォーマンスをもたらしました。

市場及び本ファンドの見通し

インフレをめぐる連邦準備制度理事会（以下「FRB」といいます。）の政策が当期も株式市場のパフォーマンスを左右する主な要因となりました。来年度に入っても、これが引き続き主要なテーマになると思われます。2024 年の米国大統領選挙も来年度の注目の的となるでしょう。2023 年は人工知能機能を開発する企業に投資家が殺到し、テクノロジー株が幅広いインデックスを牽引しました。2023 年 3 月のシリコンバレーバンクの経営破綻が金融システム全体に衝撃を与えるとともに、夏のエネルギー価格の上昇がインフレ率の上昇をもたらしました。2023 年 10 月下旬、30 年物固定住宅ローン金利は 7.79%でピークに達しました。投資家は、フェデラルファンド金利誘導目標の中央値が 2024 年は 5.1%、2025 年は 3.9%であることを示す FRB のドット・プロットに基づき、「長期間高い」金利が継続する可能性を理解しつつあります。消費者物価指数のインフレデータは、2023 年 8 月に前月比 0.6%という予想外の数値が出たにもかかわらず大幅に低下しました。米国の労働市場は失業率が 3.9%と引き続き堅調であり、2023 年 10 月には失業率が 21 カ月連続で 4%を下回りました。米国の国内総生産は、2023 年第 3 四半期に 4.9%の伸びを記録し、2023 年第 2 四半期の 2.1%から増加して 5 四半期連続のプラスとなりました。

本ファンドは、原則として、少なくとも 25 年連続で増配している Index 内の銘柄を均等ウェイトで保有しています。本ファンドは投資目的を達成するために適切なポジションにあると我々は考えています。

ファンドの費用（未監査）

本ファンドのシェア保有者は、2種類のコストを負担します。すなわち、（1）取引コスト、及び（2）継続的な費用です。これには運用手数料、販売手数料及び/又はサービス（12b-1）手数料（該当する場合）、及びその他のファンド費用が含まれます。この例は、本ファンドへの投資に伴う継続的な費用を理解し、これらの費用を他のファンドへの投資の継続的な費用と比較するのに役立つことを目的としています。

この例は、期間の初めに投資され、2023年10月31日に終了した6カ月の期間を通じて保有された1,000ドルの投資に基づいています。

実際の費用

以下の表の最初の行は、実際の口座の価値と実際の費用に関する情報を提供します。この行の情報とあなたが投資した金額を併せて使用することで、その期間に支払った費用を推定することができます。単にあなたの口座の価値を1,000ドルで割ります（例えば、8,600ドルの口座価値を1,000ドルで割ると8.6になります）。その結果に、「6カ月間に支払われた費用」という見出しの最初の行の数字を掛けることで、この6カ月間にあなたの口座で支払った費用を推定できます。

比較目的の仮想例

以下の表の2行目は、本ファンドの実際の費用比率及び費用控除前の仮定された年間リターン5%を基にした仮想の口座価値と仮想費用に関する情報を提供します。これは本ファンドの実際のリターンではありません。この仮想の口座価値と費用は、期間の実際の最終口座残高や支払った費用を推定するために使用することはできません。この情報を使用して、本ファンドや他のファンドへの投資にかかる継続的なコストを比較することができます。これを行うには、この5%の仮想例を他のファンドのシェア保有者報告書に記載されている5%の仮想例と比較してください。

表に示されている費用は、継続的なコストのみを強調するためのものであり、仲介手数料などの取引コストは反映されていないことにご注意ください。したがって、表の2行目は継続的なコストの比較にのみ役立ち、異なるファンドを所有する際の相対的な総コストを判断するには役立ちません。さらに、これらの取引コストが含まれていた場合、あなたのコストはより高くなっていたでしょう。

	2023年5月 1日時点の口 座開始価値	2023年10月31 日時点の口座終 了価値	6カ月間に 基づく年間 費用比率	6カ月間に 支払われた 費用 (a)
ファーストトラスト Cboe Vest S&P 500 配当貴族 ターゲットインカム ETF®(KNG)				
実際	\$1,000.00	\$ 935.90	0.75%	\$3.66
仮定（費用控除前のリターンが5%）	\$1,000.00	\$1,021.42	0.75%	\$3.82

(a) 費用は、表に示された年間費用比率に期間中の平均口座価値（2023年5月1日から2023年10月31日まで）を掛けたものであり、さらに184/365（6カ月間を反映するため）を掛けたものに等しいです。

貸借対照表

2023年10月31日

資 産:

投資（評価額）	\$1,466,236,476
現金	55,490
未決済の売建オプション契約の担保として分離された現金	22,212
受取勘定:	
売却された投資有価証券	112,589,408
売却されたシェア	89,532,566
配当	1,879,658
資産合計	<u>1,670,315,810</u>

負 債:

売建オプション契約（評価額）	6,703,572
支払勘定:	
購入された投資有価証券	136,478,031
購入されたシェア	66,307,829
投資顧問料	870,071
負債合計	<u>210,359,503</u>
純資産	<u>\$1,459,956,307</u>

純資産の内訳:

払込資本	\$1,618,531,460
額面価額	308,250
分配可能利益（損失）累計額	(158,883,403)
純資産	<u>\$1,459,956,307</u>
シェア1口当たり純資産価額	<u>\$47.36</u>
発行済シェア数（授權数の制限なし/シェア1口当たりの額面価額0.01ドル）	<u>30,825,000</u>
投資（取得額）	<u>\$1,573,641,174</u>
売建オプション契約について受領されたプレミアム	<u>\$7,897,011</u>

損益計算書

2023年10月31日に終了した年度について

投資利益:

配当	\$18,452,844
投資利益合計	<u>18,452,844</u>

費用:

投資顧問料	5,670,725
費用合計	<u>5,670,725</u>
正味投資利益（損失）	<u>12,782,119</u>

実現及び未実現の正味利益（損失）:

正味実現利益（損失）の内訳:

投資	(21,447,008)
現物交換	21,654,764
売建オプション契約	<u>16,841,404</u>
正味実現利益（損失）	<u>17,049,160</u>

未実現増価（減価）の正味変動額の内訳:

投資	(94,964,956)
売建オプション契約	<u>1,936,449</u>
未実現増価（減価）の正味変動額	<u>(93,028,507)</u>

実現及び未実現の正味利益（損失）	<u>(75,979,347)</u>
------------------------	---------------------

運用による純資産の正味増加（減少）額	<u><u>\$(63,197,228)</u></u>
--------------------------	------------------------------

純資産変動計算書

	2023年10月31日に 終了した年度	2022年10月31日に 終了した年度
運 用:		
正味投資利益（損失）	\$12,782,119	\$6,971,178
正味実現利益（損失）	17,049,160	12,015,289
未実現増価（減価）の正味変動額	(93,028,507)	(47,292,895)
運用による純資産の正味増加（減少）額	(63,197,228)	(28,306,428)
シェア保有者への分配の原資:		
投資運用	(49,369,360)	(17,788,530)
シェア保有者取引:		
シェア売却手取金	1,200,887,414	343,702,208
交換済シェア費用	(134,932,046)	(85,454,751)
シェア保有者取引による純資産の正味増加（減少）額	1,065,955,368	258,247,457
純資産の増加（減少）額合計	953,388,780	212,152,499
純資産:		
期首	506,567,527	294,415,028
期末	\$1,459,956,307	\$506,567,527
発行済シェア数の変動:		
期首における発行済シェア数	10,075,000	5,375,000
売却されたシェア数	23,450,000	6,400,000
交換されたシェア数	(2,700,000)	(1,700,000)
期末における発行済シェア数	30,825,000	10,075,000

財務ハイライト

各計算期間中の発行済シェア 1 口について

	10 月 31 日に終了した年度				
	2023	2022	2021	2020	2019
期首における純資産価額.....	\$50.28	\$54.77	\$42.40	\$44.69	\$40.28
投資運用による利益:					
正味投資利益（損失）.....	(0.86) ^(a)	0.81	0.73	0.81 ^(a)	0.74 ^(a)
実現及び未実現の正味利益（損失）.....	(0.94)	(3.28)	13.57	(1.35) ^(b)	5.52
投資運用による合計額.....	(0.08)	(2.47)	14.30	(0.54)	6.26
シェア保有者への分配の原資:					
正味投資利益.....	(2.10)	(1.45)	(0.58)	(1.75)	(1.57)
正味実現利益.....	(0.74)	(0.57)	(1.35)	—	(0.29)
分配額合計.....	(2.84)	(2.02)	(1.93)	(1.75)	(1.86)
シェア取引:					
取引手数料.....	—	—	—	0.00 ^{(a)(c)}	0.01 ^(a)
期末における純資産価額.....	\$47.36	\$50.28	\$54.77	\$42.40	\$44.69
トータルリターン ^(d)	(0.43)%	(4.52)%	34.14%	(0.93)%	15.98%
平均純資産に対する比率／補足データ:					
期末における純資産（千単位）.....	\$1,459,956	\$506,568	\$294,415	\$66,778	\$43,574
平均純資産に対する費用合計の比率.....	0.75%	0.75%	0.75%	0.75%	0.75%
平均純資産に対する正味投資利益（損失）の比率	1.69%	1.55%	1.65%	1.89%	1.75%
ポートフォリオ・ターンオーバー比率 ^(e)	92%	55%	62%	86%	83%

(a) 平均発行済シェアを基準としています。

(b) シェア 1 口当たりの実現及び未実現の利益（損失）は、期中のシェア 1 口当たり純資産価額の変動を調整するために必要な調整額であり、期中のシェア取引次第では損益計算書上の損益合計額と一致しない場合があります。

(c) 0.01 ドル未満の金額です。

(d) トータルリターンは、当初投資が期首の純資産価額で行われ、すべての分配が期中の純資産価額で再投資され、当該期間の最終日に純資産価額で交換（redemption）がなされる、という前提で計算されています。表示されたリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの交換（redemption）又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。トータルリターンは表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。

(e) ポートフォリオ・ターンオーバー比率は、表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。また、設定（creation）や交換（redemption）の処理及び現物取引により受領又は交付された有価証券を含みません。